



《学校教育目標》 夢をもち 自ら学ぶ～つなげる・つながる～

長 迫 の 丘

令和5年12月1日
長迫小学校通信No.16
校長 高尾 千草

師走

今日から12月。今年も残すところ1カ月になりました。

旧暦の呼び方は、「師走(しわす)」。「師走」の由来は、僧侶のような普段落ちついていない人でも、この月は多忙で走り回るようになるという意味から名付けられたとか。

その他にも、1年の最後の月の意味から「極月(ごくげつ、ごくづき)」、「窮月(きゅうげつ)」、「限りの月(かぎりのつき)」、古い年を除くという意味で、「除月(じょげつ)」とも呼ばれます。「終わりよければすべてよし」の言葉通り、締めくくりをしっかりとっていきたいと思います。



「命を大切にする教育」～スクール・カウンセラーと学ぶ～

令和5年3月、令和4年の小中高生の自殺者数が514人と過去最高だったことが警視庁の自殺統計(確定値)に基づく厚生労働省のまとめで明らかになりました。平成28年に「自殺対策基本法」が改正され、その後の取組により成人の自殺者数は減少傾向にあるものの、若年層の自殺者数は増加傾向にあることから、若い世代へ自殺対策が喫緊の課題になっています。また、平成29年には「自殺総合対策大綱」が閣議決定され、その中で「SOSの出し方に関する教育」の推進が示されました。

そこで、呉市においても5、6年生を対象に、「いのちを大切にする授業」のプログラムが示され、本校でも授業を行いました。6年生は「レジリエンス(心の回復力)」、5年生は「SOSを出すこと」がねらいです。担任とスクール・カウンセラーの2人体制で授業を行ったのですが、スクール・カウンセラーの参加により、児童の考えや意見に対し、心理の専門家の視点で助言や評価があり、大変有意義な授業になりました。

〈6年生〉

*レジリエンス(心の回復力)

- ①日常的に起こる小さな困難を乗り越える力を育む
- ②ストレスに対処する力、怒りをコントロールする力を育む

〈5年生〉

*SOSを出すこと

- ①困った時に信頼できる人に助けを求める力を育む
- ②友人から相談を受けた時に、信頼できる大人につなぐ力を育む



いじめ・体罰・セクシュアル・ハラスメント等相談窓口

上記の内容や児童の成長についての心配事など、ご遠慮なく相談ください。

長迫小学校相談窓口 長迫小学校 ☎22-3191

《担当者》教頭：加藤 寛 教務主任：小早川崇
生徒指導主事：坊田友会 養護教諭：田熊留美

《相談日》相談はいつでも受け付けます。

《場 所》調べ学習室(西校舎2階)

※中村英美スクール・カウンセラーの相談日は、12月8日(金)の午後です。



フラッシング指導～ちゃんとみがけているかな？～

学校歯科医の吉井 友宏 先生に「歯の正しいみがき方」について授業をしていただきました。歯科衛生士さんの話を聞いた後、染め出しをしました。磨き残しがあるところは赤い色が残ります。鏡でチェックしながら、どこに磨き残しがあるかをワークシートに記録していきました。

きちんと磨いているようでも、意外と磨き残しが多かったようです。歯の表面はブラシがよく当たるのできれいですが、「歯と歯茎の間」「歯と歯の間」が特に要注意のようです。正しいみがき方で、歯を大切にしましょう。



らんらんタイム～楽しく走ろう！～

ラン♪ラン♪楽しく走る (run)「らんらんタイム」を行っています。月・水・金の大休日に全員で3分間走ります。自分の体調と相談しながら、楽しく走っています。今年度は100周ごとに認定証が渡されます。1000周走ると「らんらん大賞」です。

1000周走ると何km?



子ども司書～本の楽しさを！～

6年の松田朔君が「子ども司書」として活動しています。子ども司書は、公立図書館や学校での研修などを通して、子供の読書活動を推進するリーダーのことを言います。

朝会で本の読み聞かせをしたり、高学年の読書量を増やすために「移動図書館」を作ったりと、本の楽しさを知ってもらおうと頑張っています。



スマホ安全教室～危険な目にあわないためにはどうしたらいい？～

呉警察署少年係の中井様に「携帯電話」の安全な使い方についてお話をしていただきました。インターネットを通じて、広島県内で実際に起こった犯罪被害事例や警察から見た犯罪被害やトラブル防止策について話が進むと、思い当たるようなこともあるらしく、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。

- 危険なサイトにアクセスしない。
- インターネットで知り合った他人を安易に信用しない。
- プライベートな写真は「撮らない」「撮らせない」「送らない」
- 被害にあってしまったら、困ったりしたことがあったら、保護者や学校の先生、警察に相談する。

広島県のHPに保護者の役割について書かれていますので、参考にしてください。

「子どもたちがインターネットに触れる機会が増加すると、様々な便利なことがある一方で、使い方によってはトラブルや犯罪などに巻き込まれるリスクもあります。子どもたちをトラブル等から守るためには、保護者が子供の発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理する、「ペアレンタルコントロール」(親としての管理)がとても大切です。」

フィルタリングや時間等、「安全な利用環境づくり」をお願いします。

